

(1) 「辛人マ白人 瓜工マ逆 <

合五人 若倭マ赤麻呂
〔小長谷カ〕伊蘇マ口口
□□□マ首支」

326×46×7 032

長方形板材の下端の左右に切り込みを入れており、切り込み部分には、紐状の痕跡がある。上端部は、表裏両面から切り込みを入れて切断したままで、原形を保つ。文字は墨が流れ、文字部分の盛り上がりによつて僅かに判読できる程度である。

本資料の用途は断定できないが、計五名の人名が、上下二段、合計五行に整然と記されており、それぞれ書き始め・行取りなどの割付が均等に行われている。また、扁平な「人」の字の表記や、「部」の異体字に「ア」字を用いる点などとともに、全体的に柔らかい筆使いであることが特徴的である。

なお、木簡の釈読と内容については、国立歴史民俗博物館の平川南氏にご教示いただいた。

(1~7 松井一明、8 白澤 崇)



2000年出土の木簡

木簡研究第一九号

卷頭言

町田 章

一九九六年出土の木簡

李 成市

概要 平城宮跡 平城京跡 藤原宮跡 恭仁宮跡 長岡京跡 平安京跡

左京八条三坊十四町(八条院町) 末窯跡群 大坂城跡 広島藩大坂藏屋敷跡

樟葉野田西遺跡 三条九ノ坪遺跡 大物遺跡 深田遺跡 安倉南遺跡

明石城跡 坪櫛 明石城 武家屋敷跡 梶狭遺跡 印場城跡 角江遺跡

跡 御殿・二之宮遺跡 川合遺跡 志保田地区 北条小町邸跡 伊興遺跡

丸の内三丁目遺跡 汐留遺跡 江戸城外堀跡 牛込御門外橋詰 尾張藩上屋敷跡 遺跡 青山学院構内遺跡 岡部条里遺跡 上山神社遺跡 湯ノ部

跡 遺跡 観音寺城下町遺跡 小谷城跡 高山城三之丸堀跡 松本城三の丸跡

跡 屋尻居跡 松本城下町跡 伊勢町 前橋城遺跡 大猿田遺跡 根岸遺跡

跡 泉平館跡 山王遺跡 舟場遺跡 無量光院跡 志羅山遺跡 後田遺跡

跡 亀ヶ崎城跡 宮ノ下遺跡 上高田遺跡 大橋遺跡 払柵跡 長田南遺跡

跡 金石本町遺跡 田尻遺跡 大坪遺跡 舞臺遺跡 馬寄遺跡 下町・

跡 坊城遺跡 新発田城跡 目久美遺跡 天神遺跡 三田谷I遺跡 鴻の巣

跡 東遺跡 吉川元春館跡 長登銅山跡 飛田坂本遺跡 博多遺跡群 香椎

跡 B遺跡 鞠智城跡 前田遺跡 那覇港周辺遺跡群 旧東村地区

一九七七年以前出土の木簡(一九)

美作国府跡

韓国出土の木簡について

史料紹介 琉球の木簡二題

書評 山里純一著『沖縄の魔除けとまじない—フーフダ(符札)の研究』

書評 東野治之著『長屋王家木簡の研究』

彙報

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円

李 成市

山里 純一

高島 英之

鶴見 泰寿